

文化情報誌

# Passion

・ パッション

特集 「四日市のうまいもの」①



輝くひと 自然観察のエキスパート

四日市自然保護推進委員会副会長／日本鳥類標識協会  
四日市市文化財保護協議会委員

木村 裕之

FLASH 四日市「校歌」ものがたり

高等学校英語講師

黒田 加恵

誌名の「パッション」は  
燃えるような“情熱”の意味です。



**四**日市市内には、723の自治会があり、28地区の連合自治会があります。

自治会加入率は83.7%と、全国的に見ても高い水準を保っており、人口減少や少子高齢化などによるコミュニティの希薄化という課題はありますが、多くの住民が地域活動に積極的に関わっています。

防災・防犯や環境美化といった日常の取り組みに加え、地域のつながりを育むうえで欠かせないのが、まつりや伝統文化の継承です。

たとえば、四日市まつりは、からくり人形を乗せた山車や、名物の大入道が、まちなかを練り歩き広く市民に親しまれています。また、各地区には鯨船行事や、獅子舞、大念仏、けんか祭りに、石取祭など、地域ごとに息づく芸能は、私たちのふるさとの誇りであり、未来へつなぐべき大切な財産です。これらは、私たち自治会にとっても重要な文化活動の1つでもあります。

多くの地域では祭りの運営や準備が自治会を中心に進められ、住民の協力のもとで成り立っています。そうした過程のなかで、子どもから高齢者までが関わり合い、自然と顔の見える関係が育まれています。このような取り組みは、防災・福祉といった自治会の本来の役割にも結びつき「日頃のつながり」が、いざという時の助け合いへと発展していきます。

また、地域の伝統文化を守り伝えることは、次世代の育成にもつながり、まちの未来を形づくる大きな力になります。「まつり」は地域の絆を深め、子どもたちにふるさとの良さを伝える大切な場でもあります。

私たち自治会は、こうした伝統文化を大切に守りながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりに力を尽くしてまいります。

今後とも、地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



表紙写真 南部丘陵公園の栗の木  
写真提供 四日市市

今号は『四日市のうまいもの』をテーマにして昔から愛されている四日市のソウルフードを取材しました。

## 一般社団法人 四日市市文化協会

〈事務局〉

〒510-0845 四日市市海山道町1丁目1532-1

四日市市三浜文化会館内

TEL・FAX 059-347-1023

メール ybk@yokkaichishibunkakyokai.com



メール



Facebook



Instagram

開局日時 日、月、水、木、金 13時～17時  
(火、土、祝日及び三浜文化会館休館日は閉局)

ホームページ [四日市市文化協会](#) 🔍 検索

# Passion

77 2025  
sep.

巻頭によせて

地域で伝統文化を守り伝える

四日市市自治会連合会 山路 和良

## 特集 『四日市のうまいもの ①』

女性に支えられて。四日市のおにぎり

おにぎりの桃太郎 …………… 2

伝統の味と製法を守り続けて150年

喜太八時雨本舗 …………… 4

冷麦のうまい食べ方

金魚印の渡辺手延製麺所 …………… 5

Sparkling Personality 輝くひと

自然観察のエキスパート

四日市自然保護推進委員会副会長 木村 祐之 …………… 6  
日本鳥類学協会会員/四日市市文化財保護審議会委員



四日市「校歌」ものがたり

高等学校 黒田 加恵 …………… 8  
英語講師

Voice- 聞かせて!あなたの声

下野こちやませ文庫 谷口 明菜 …………… 9

リーディングミュージカル「Play a Life」制作記

音楽演劇支援事業実行委員会 プロデューサー 田中 峻 …………… 10

歴史随筆

しばし日本史むだばな誌 ②

廣瀬 毅 …………… 11

路傍の自然石考 ①⑦

石の疑問に答える人々～人文科学・自然科学の諸説～

吉川 宗明 …………… 12

(敬称略)

## ＜… パッションひろば …＞

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどを紹介します。

文芸ひろば 俳人山口誓子は四日市に居た!!	…………… 13
(一社) 四日市市文化協会文化活動功労賞	…………… 14
20 展 四日市アート展 2025 を終えて	…………… 15
『第一回 四日市ほのぼののアートマルシェ』を終えて	…………… 16
第75回 四日市市民芸術文化祭	…………… 17
この人を知る アマチュア写真家 興村 良輔さん	…………… 18
四日市市文化協会後援事業	…………… 19
不易流行/理事長つづやき/編集後記	…………… 20

# 女性に支えられて。 四日市のおにぎり

## おにぎりの桃太郎

「桃太郎」と言えば、四日市では“おにぎり”と思いきや、思い浮かべる方が多いのでは。それほどまでに、なじみ深い“四日市の桃太郎”。朝7時からオープンし、日々の暮らしにも行事や行楽の時に、いつでも身近な存在です。今回は2代目社長の上田耕平さんに、お話を伺ってきました。創業者の上田輝一さんは、現在会長として活躍中です。そして会長の実姉・日出子さんは、現在専務として活躍中です。お二方から伺った過去のエピソードもまじえてお伝えします。



久保田本店屋上の、桃太郎からくり。

### 女性スタッフ3人と創業

**上** 田輝一会長は「私が19歳、大学1年の時、父三郎が急死しました。家業はす

し店を2店、日本料理の1店を構え、当時としては繁盛店として名を馳せていました。しかし、職人たちの要だった父が他界したため、労使関係が逆転しまして、職人主導型の経営を余儀なくされることになりました」と、振り返ります。

会長は、実姉の日出子さん（現専務）と2人で、「職人主導型の商売から、経営者主導型の商売に早くシフトしなければ」と考える日々が続いたといいます。そうして昭和50年に『おにぎりの桃太郎』を創業しました。共に働くパートナーとして選んだのは、女性スタッフでした。女性スタッフ3人、店舗の広さは1.5坪でのスタートだったといいます。

### 温かな店内の、声かけ

社長が2代目となった今でも、女性スタッフは変わらぬ大切なパートナーだと耕平社長は語ります。「父は今でもよく言っています『桃太郎を創業した時に、女性のスタッフさんにごく助けてもらった』と。そして僕自身が感じるのは、女性のスタッフさん達は、とてもまじめに取り組んでくれます。『桃太郎』の店舗内には、温かみがあると感じませんか？」桃太郎で買い物した際に、ちょっととしたひと言を添えてもらった思い出を、多くの人が



創業間もない頃の様子。

持っているのでは。「おはよう」行ったらっしい」「気をつけてね」「今日もお疲れ様」。現代の買い物で消えかけている、人と人の温かなやりとりが、今も息づいています。

耕平社長は言います「まるで実家のような温かみが『桃太郎』の強みであり、ローカルチェーンだからこそ実現できる味わいになっていると思います。会長と専務、そしてスタッフの皆で『その味わいを大事にしなきゃね、引き継いでいかなきゃね』とよく言っています」。

### アイデアに耳を澄ませる

日出子専務は以前、このように語っていました。「創業以来、何百人もの女性スタッフが当社で活躍してくれました。現在、100人以上の女性が我が社の屋台骨となって支えてくれています。女性社員なしには、おにぎ

りを作り、売ることはできません」。定年制度は設けず、若い学生から高齢のお婆ちゃんまで、年齢問わず、女性が輝き続けられる環境を整えていると、胸を張ります。

過去には、女性社員有志で諏訪太鼓チーム『桃太郎女組』を結成し、四日市祭りに参加していたというエピソードも。耕平社長の代になった今も、女性のアイデアを大切に拾い上げる姿勢に変わりはありません。

耕平社長は、こう続けます。「僕には思いもよらないアイデアが、女性の方達から日々積極的に提案されています、『社長、こんなやつたらどうですか?』と。その一つが、桃太郎エスカーラ店で始まった、高校生の自習室です。これは一般社団法人ウネシヤル(代表・福本由紀さん)とのコラボという形で実現しました。桃太郎エスカーラ店という、あすなろう鉄道四日市駅すぐそばにある店舗で始まった試みです。周辺に学生達が自習できる場所がないという問題に対し、閉店後の店舗を自習スペースとして開放するという試みが始まっています(日時限定、インスタグラム等で告知)。

## 今後のビジョン

輝一会長は「多様化する時代で、今後も地域で必要とされるために、商品とサービスの質を常に向上させることが使命です」と語ります。

また耕平社長は「バトンを受け取った僕と



現社長の上田耕平さん。京都の割烹で修業した経験の持ち主。久保田本店。

季節の新メニューを続々開発中。

しては、第二創業期」としてとらえています。これまで、地元四日市のお客様に支えてもらってきました。そのスタンスは大切に守りながら、これまで桃太郎が培ってきた、安全で美味しいおにぎり〰️を、より多くのお客様に召し上がっていただく方法はないかなと。現在アイデアは大切に温められているそうです。今後の展開にも期待です。

## 「桃が鳴ったら帰ろう」

最後に、久保田本店の屋上にある桃の仕掛けについてご紹介を。桃が開くのは、天気が良い日の朝8時〜午後5時までの5回。桃太郎の身長は4メートルで、重量は6トン、桃の直径は3メートルなんだそうです。

耕平社長はこうのように振り返ります「僕が確か小学3年生の頃に付きました。『3時の桃が鳴ったらおやつ』、『5時の桃が鳴ったら帰ろう』、そんな風に親しんできました」。

「桃が鳴ったら帰ろう」という言い回しも、四日市ならではの。桃太郎の風景のそばにはいつも、女性たちの優しさや情熱がありました。

(レポート 森 次男・中村 智恵子)

おにぎりの桃太郎 久保田本店

住所 四日市市久保田一丁目六一五四

電話 〇五九一三五二一二一九五

営業時間 7時から20時まで



特集 四日市のうまいもの①

# 伝統の味と製法を 守り続けて150年

しぐれ  
喜太八時雨本舗



真ん中が白魚紅梅煮、手前から志ぐれ蛤、時計回りにほたて志ぐれ、生むき中浅利、椎茸昆布、飯とも志ぐれ

## 喜

太八時雨は、明治十年に初代の橋本源八郎氏が「橋本時雨店」として蔵町で創業した。戦火で消失したため現在の新町に喜太八時雨本舗と改名して再開。現在の当主、奥山眞弘さんは五代目となる。大学卒業後、

3年間の語学留学を経て帰国、英語講師をしながら家業を手伝っていたが、32歳の時兼業を辞め本格的に仕事を始めた。とはいえ、小学生の頃から手伝っていたことでもあり、仕事にはすぐ専念できた。

### 定番の商品から高級品まで

元ダレといわれる各店独自のタレがある。時雨は、元ダレに新しい調味料を加えて、浮かし炊きという伝統の製法で、あさりやシラス、蛤などを炊いていく。この元ダレが引き継がれていくことで、その店の独自の味付けとなり、違いのわかる人がいつも買いに来てくれる。

主となる商品は、生むき中浅利、志ぐれ蛤。ほたて志ぐれもそうだ。昆布の中で一番人気なのは、椎茸昆布。昆布を使った商品には他に、しそ昆布、からし昆布、ごま昆布などがある。特筆すべきは「白魚紅梅煮」。名前の由来は、透明な白魚を炊きあげると梅の花のような色になるから。通常は茨城県霞ヶ浦産の白魚を原料としてお手ごろな価格で販売しているが、一月から三月の間に桑名でとれるものは、取れたてですぐに炊くので、鮮度が

よく美味しいという。これは希少価値ということもあり、100gで、なんと四千元から一万二千円の品もある。

### 「飯とも志ぐれ」「朝炊きあさり」

三重県の人には当たり前のしぐれのおにぎりだが、実は東海地方にしかないそうだ。20年ほど前からネット販売も始めたが、当初「何だ、この辛い食べ物」という投稿があった。

そこで、ご飯に合い、大人から子どもまで食べられる薄味のしぐれを考えて「飯とも志ぐれ」とネーミングして販売したところ、リピーターが増えた。他に新しく出した商品として「朝炊きあさり」。四日市にちなんで四のつく日の朝だけに炊く。日持ちはしないが、塩分少なめで、柔らかく優しい味付けになっている。

近年は、シラス、あさりなどが伊勢湾でとれなくなり、他県の花から取り寄せているという。天然昆布も危機的で、養殖や外国産に頼らざるを得ない。大変な環境だが、原料を各地から取り寄せ、伝統の味を守り続けていく。(レポート 石井 亨)

喜太八時雨本舗

住所 四日市市新町一―八

電話 〇五九―三五二―二二六五

HP <https://www.shigure.co.jp>

営業時間 8時30分から18時まで 定休 火曜



特集 四日市のうまいもの ①

# 冷麦の うまい食べ方

## 金魚印の渡辺手延製麺所

**金** 魚印と言えば、そう、大矢知手延素麺のこと。

かわいい金魚の印が印刷された包装紙にくると巻かれた姿を、四日市へ来た時から見ていたが、あまりよく分かっていなかった。

そこで今回、四日市が認定する地場特選品「泗水十貨店」に認定されている有限会社渡辺手延製麺所を訪ね、金魚印や素麺、冷麦について伺った。製麺所の隣にあるショップでお応えくださったのは「四日市の冷麦女将」の異名を持つ渡邊美千代さんである。

まず金魚印というのは、大矢知手延素麺組合に所属する製麺所のみが名乗ることのできるブランド名であった。昔から大矢知は、良質な水と小麦そして鈴鹿おろしに恵まれ、明



四日市の冷麦女将 渡邊美千代さん

低温乾燥室内の様子

治期には大矢知周辺に300軒近くの製麺所がある一大生産地だった。しかし現在、金魚印を名乗ることのできる製麺所は、5軒を残すのみ。

渡辺製麺所では、朝4時半から作業が始まる。ミキシング、いたぎ、油返し、こなし、撚りを入れる作業が家族で行われる。パートナーたちがやってくる8時ごろからは、棒にかけて引き延ばす作業が続く。お昼過ぎには長く長く延ばされて、はた掛けされた麺を低温乾燥室へと運ぶ。一晩干した乾麺を、翌朝に裁断し束ねて全国へと発送する。お訪ねした日は暑い日だったが、ひんやりとした部屋には、涼し気に冷麦がずらりと下がっていた。1年中を通して製麺は行われるが、素麺だけ

は気温が高いと作りにくいので、冬の間には作られる。

この「全国へ発送」というのが、実はとても難しいことだったと冷麦女将は20年前を振り返る。とにかく知名度が低かった。素麺では大きな生産地が全国にいくつもあり、冷麦は県内ですら「冷麦?何それ?」と言われた。そこで冷麦に力を入れ、努力すること20年。今では、冷麦部門で楽天売り上げ連続全国1位である。

素麺も冷麦も、一度茹でた麺を温めなおしても美味しいが、何と言っても茹でたてを水でぎゅっと締めて、すぐに食べるのが一番美味しい。

そこで冷麦女将が提案する冷麦を美味しく食べるコツは、

「ぜひご自宅で茹でたてを!」となる。

ああ、贈答品に最適というのは、そういうことなのだと思った。

ぜひ、地元ブランドの金魚印の乾麺を、身近な人にプレゼントしてみてもどうだろうか? 相手への思いやりとあなたの地元愛が、きつと伝わるはずだ。(レポート 伊藤順子)

有限会社 渡辺手延製麺所

住所 四日市市川北一十三一九

電話 〇五九一三六六―三五二二

店頭販売 11時から18時まで 定休 日曜



三滝川の観察会風景

## 自然観察のエキスパート

四日市自然保護推進委員会副会長  
日本鳥類標識協会会員  
四日市市文化財保護審議会委員

### 木村 裕之

兵庫県出身、小学校低学年よりテレビの自然番組を見て様々な生物の名前を覚え始める。中学での昆虫採集、大学での植物や鳥類、海岸底生生物の調査によって守備範囲が広がる。1982年から中学校理科教員。1985年から鳥類標識調査開始。1988年頃より自然観察会指導を始める。早期退職後は生物撮影に力を注ぐ。2017年から「よっかいちの自然」の編集。趣味は、磯釣り、登山など。日課は45分の筋トレ。

### 自然観察会指導

年間十数回の自然観察会を指導しています。多くは「広報 よっかいち」に掲載されますので、興味のある方は一度参加してみてください。最近では保育園から小学校低学年の親子参加が増えています。幼児期に力二やカエルやトンボなどの自然に触れ合うことは情操教育の観点からも大切なということが保護者にも認識されているでしょう。

普通講師の方は専門分野に限られているものですが、私の特徴は植物から動物、プランクトン、岩石、天体まで自然界を広い視野で理解している点です。今も日々勉強中です。自然が大好きな人が増えてくれると嬉しいのです。

### 「よっかいちの自然」4集の編集

2017年1月に市からの打診があり、「よっかいちの自然」が4年間かけて4冊作られることになりました。今回は全体構成、ページテーマの設定、ページ構成、写真、解説をほぼ一人で作成しました。一番苦労するのは、永年撮影してきて一枚も写真のない生物を単目的で撮影



「よっかいち自然 第4集」

することです。ベニスズメ、ソウシチヨウ、ムササビなどが該当します。また、明瞭な図鑑がない生物にも困ります。こうした目に見えない苦労が詰め込まれているのです。この4冊全体では四日市市で見られる動物2080種と岩石や化石が紹介されています。自然が好きな人には絶好の教科書になると思います。博物館のミュージアムショップにて1冊600円で購入できます。ぜひ一度手に入れてみてください。

### 鳥類標識調査

鳥類標識調査は、環境省から山階鳥類研究所に委託されている調査です。野鳥を捕獲し、足に刻印の入った金属製の足環を装着することによって個体識別が可能となり、移動や越冬地への帰還などが分かります。これまで40年間に三重県で放鳥



パソコンの前で 右はヤマドリの尾羽の標本



2021年11月27日に菰野町で標識したヤマシギ  
8A-13045 UJ

したのは100種19000羽に及びます。最も多かったのはコアシサシで5892羽放鳥し、7335km離れたオーストラリアで5030日後に再捕獲された記録を含めて27例の回収記録があります。また、三重県初記録となるチュウジシギやチョウセンメジロの放鳥や観察例の少ないノジコやコホオアカの記録もあります。三重県は小鳥類にとって越冬地として重要です。放鳥して半年以上経過して放鳥地で再捕獲される場合をリターンと呼びます。アオジやシロハラ、ベニマシコなどは北海道からロシア東部で繁殖しますが、片道千数百kmもの渡りをするのに次の越冬期にもピンポイントで帰ってきてリターンされる個体が多いのに驚かされます。鳥たちにとって野山は

何処でも同じではなく、人が自宅へ帰るように同じ場所に帰ってくるのです。小鳥類は一般的には短命で、寿命は0.5〜2年くらいの個体がほとんどです。しかし、庭に来るメジロで7冬連続越冬したという奇跡的な長寿記録もあります。

### 国の天然記念物 御池沼沢植物群落

四日市市文化財保護審議会天然記念物部会の一員として、御池沼沢の保全活用計画への助言や植生回復試験、観察会などを行っています。現在は隣接地の竹林の繁茂などにより湧水量が減少して陸化が進んでいて、湿地性の植物は危機的状況に陥っています。植物の管理には莫大な労力が必要とし、市の文化課やボランティアの方などの努力により何

とか現状維持している状態です。皆さんも関心のある方は、ぜひボランティアとして参加してみてください。

### 現在の課題

今、最も重要と考えて取り組んでいるのが、**下水道公害**への対応です。

皆さんも、コウナゴ、サンマ、スルメイカ、アサリ、イセエビ、シラスウナギなどの不漁のニュースで何となく海の異変を感じておられると思います。しかし、これだけではありません。干潟の砂礫質化、ゴカイ類やカニ類の激減、シギ・チドリ類の激減、黒海苔やヒジキの不漁、アコヤガイやマガキの斃死、磯焼け、漁村の衰退など例を挙げたらきりがありません。マスコミでは、温暖化と乱獲の一点張りです。海では、植物

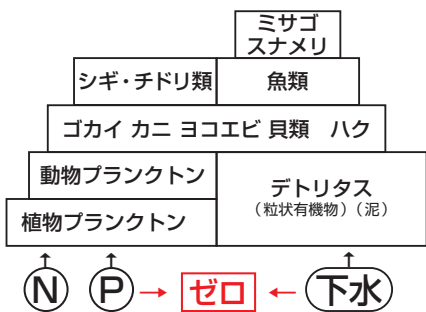
プランクトンを動物プランクトンが食べ、それを小さな魚が、またそれを大きな魚が食べるという食物連鎖の生物ピラミッドが成り立っています。(上図参照)なのに下水道法では、

植物プランクトンの生育に必要な不可欠な窒素N、リンPをゼロにするように定めています。この結果、生物ピラミッドがどう変化するかはほとんどの人が理解できるはずですが、環境省では、海をきれいにしたら海が豊かになると勘違いしているのです。

もう一つ決定的に海を殺しているのが、「**ロンドン条約2007**」による下水道汚泥やし尿の海洋投棄の禁止です。

JAXAの気象衛星が撮影したクロコフィラ(植物プランクトン量)の画像を見ると日本近海は植物プランクトンが少ない青色になっています。私は2018年から行政や漁協、新聞社などに資料を送って説明してきましたが、下水道は法律で固められているので、市や県レベルでは手も足も出せない状態になっています。早く法律を改正して対応しないと、人を含めて海に関連する多くの生物が消えてしまう事を強く危惧しています。

### 伊勢湾生物ピラミッド概念図



# FLASH

## 四日市

### 「校歌」ものがたり



高等学校英語講師

黒田 加恵さん

プロフィール

四日市在住。英語が好きで、セントヨゼフ女子学園高校で学ぶ。大学卒業後、英語教員に。現在は非常勤講師。県文学新人賞（詩部門）受賞。



「四日市「校歌」ものがたり」四日市市立図書館、あさけプラザで閲覧できます。

校歌に関心を持つようになったきっかけは、4人の子どもたちが通った三重西小学校の校歌に出合ったことです。三重西の校歌は歌詞も曲も清新で力強く、歌うといつも元気をもらいました。夕飯を作りながら、まだ幼かった息子を保育園に迎えに行く道で、子どもと一緒によくこの校歌を口ずさみました。

『文化展覧 四日市 ラ・ソージュ』で記事を書かせていただくことになった時、校歌について書いてみたいという思いがわいたのは、このとき、校歌のもつ力に触れたからだと思います。以来8年近く、四日市周辺の20余りの校歌について書かせていただきました。

始めは著名な作曲家や作詞者に

よって作られた校歌が目にとまりました。けれどシリーズとして書き進めていくうちに、地域のため、子どもたちのためにと校歌の制定に心をくだき奔走した方々の努力を知り、これを残さなければ、と考えるようになりました。

例えば笹川東小学校（現在は笹川小学校となり校歌も新しくなっています。）の校歌にはこんなエピソードがあります。

校歌の作曲者は野田暉行。津の出身で、東京藝術大学在学中の1963年、毎日音楽コンクール作曲管弦楽部門で1位を取った俊才ですが、奇しくも、野田は、当時、笹川東の教頭だった山中久二先生の中学校時代の教え子でした。

校歌作成の話が持ちあがった時、

新設校だった笹川東には十分な予算がありませんでした。けれど保護者や先生たちは、何とかして最初の卒業生を新しい校歌で送り出したかった。廃品回収で集めたなにかしかなかったお金を持って、山中先生が東京の野田のもとを訪れたといいます。

「普通の作曲料の三分の一のほどもありましたやろうか。『このお金でがんばってくれ。』と、頭を下げようと思っていました。」と、山中先生はニコニコしながら話してくださいました。

後年、『交響曲三重讃歌』を書いた野田暉行の故郷に対する想いも深いものでした。「三重に恩返ししたいといつも思っていました。」とは取材時の野田の言葉です。

校歌は野田の教え子で当時東京藝大の大学院生——後の日本を代表するソプラノ歌手——鮫島有美子さんによって吹き込まれた録音テープとともに笹川東小学校に送られています。

校歌にかけた山中先生たちの熱意は、関係者の多くがいなくなっても校歌の中に生きていくような気がします。記事を書きながら、人との小さな結びつきが校歌の誕生に大きくかかわっていることに目を開かれる思いでした。

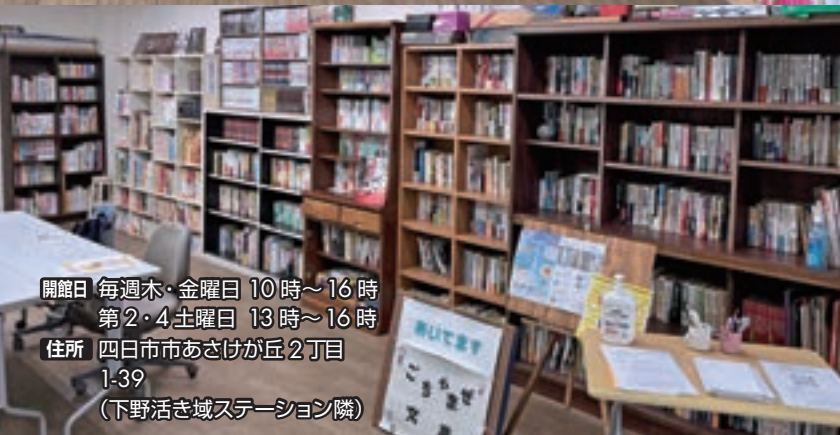
これからも、郷土について学び、次の世代につないでいきたいと考えています。（敬称一部省略）

\*笹川東小学校校歌は1974年制定。学校は2019年には笹川西小学校と統合されました。



聞かせてあなたの声  
**Voice**

下野ごちゃませ文庫  
谷口 明菜さん



開館日 毎週木・金曜日 10時～16時  
第2・4土曜日 13時～16時  
住所 四日市市あさけが丘2丁目  
1-39  
(下野活き域ステーション隣)

**昨**年10月にオープンした多世代交流の民間図書館「下野ごちゃませ文庫」。コミュニティナーズとして活動する傍ら、この活動を立ち上げた谷口さんにお話を伺いました。

### 活動のきっかけは

活動のきっかけは、地域で世代間の分断を感じていたことです。例えば、高齢者が子どもたちに声をかけても、彼らは「知らない人には返事をしない」と教わっていますから無視してしまう。私がボランティア

アとして参加しているNPOに「高齢者と子どもが『ごちゃませ』にどのような居場所を作りたい」と話したところ、活動のためのスペースを間借りさせてもらえることになりました。

### 図書館としてはどうしてでしょうか。

正直、居場所を作っただけでは人は集まらないと考えていて。個人やボランティアが運営する民間図書館を知り、本が好きな私は「これはやってみよう」と思いました。ここにある本は全て地域の方々からの寄贈で

す。いろんな人が買ったものなので面白いラインナップになっています。下野の郷土史など地域の図書館らしい本もあります。在宅介護支援センターさんに健康相談をしていただったり、子どもたち向けにゲームのイベントをしたり、図書館だけではなく、地域の人が安心して過ごせる居場所を目指しています。

### ご自身がボランティアを始めたきっかけは。

看護師として病院に勤めていたのですが、退院して日常生活に戻った

高齢者を助ける存在が地域に必要だと感じていました。ちょっとしたことでも気軽に相談できる存在、「コミュニティナース」という活動を知り、病院を辞めるタイミングでボランティアを始めました。ボランティアにもいろんな形があると思っていて、例えばごちゃませ文庫の「ただボランティア」は数時間ほど店番をするだけです。ここはボランティアも「ごちゃませ」。そうやって助け合いながら運営しています。

### 最後にこの活動への想いを聞かせてください。

NPOで活躍する高齢者の方々と「下野ごちゃませブランド」をシェアする子ども食堂を手伝っているのですが、皆さん私たちが子育て世代との活動を楽しんでいるように感じます。せつかく同じ地域に住んでいるのですから、みんなで何かをする、大変な思いも楽しい気持ちも分かち合う……ということが大切なのではないのでしょうか。ごちゃませ文庫はみんなの居場所ですから、高齢者や子どもだけでなく、私たち世代も含めて、お互いを理解し合えるきっかけになればいいなと考えています。(レポート 畑中純一)

ごちゃませ文庫はみんなの居場所

# リーディングミュージカル 「Play a Life」 制作記

音楽演劇支援事業実行委員会

プロデューサー 田中 峻

リーディングミュージカル「Play a Life」は、10年以上勤めた四日市市文化会館を退職し、東京に出たことで、少し時間ができたことから始めた企画である。

東京と四日市は、新幹線を使って2時間程度、水戸から通う人間もいる関東圏なら通勤範囲だ。それなら東京にいても、こっちでも何か新しいことにチャレンジできるだろうと考えた。一昨年四日市市文化会館で上演した劇団「Tap」の「Play a Life」を、オーケストラでやってみたいと知り合いの指揮者が呟いていたのを思い出した。すぐに連絡して、「やって

みる?」「「いいよ」ふたつ返事が来たことで、やることを決めた。なんとか、許可も降りた。

岡田文化財団の助成金募集に応募し、晴れて助成金をいただけることになり、本格的にスタートしたのが今年の2月である。

東京で実感したことの一つが、とにかくミュージカル制作は東京に集中している、である。しかし、集まっているからこそ、スケジュールや稽古場環境など、決して恵まれているとは思えない状況だ。会場、稽古場不足、スタッフ探し、苦勞している事は変わらないならば、こっちにだって、俳優もスタッフも音楽家もいる。足りないものは、2時間だからなんとか東京から動かせる。しかも明らかに稽古場の環境は、こちらに余裕がある。人、物、金、そして地の利があると思った。だが、どうせやるなら、キャストはできれば地元組と東京組を混ぜたい、両者がつながることが発展につながると思っている。演出や音楽監督に相談した。快諾された。こうして企画の方向性も決まった。

稽古初日。キャスト、演出、音

楽監督、歌唱指導、カチツとはまった感じがした。実績のあるメンバーを中心に作品が研ぎ澄まされていく。ああ大丈夫だ。プロデュースの最大の仕事は、チームを集めること。あとは彼らを信じるだけ。

四日市で作った作品を名古屋や他の都市に持っていく、これを繰り返せば経験が蓄積される、経験は環境を整える。自分以外も作りたいと思う人の後押しになればいい。そんな願いをこめて、リーディングミュージカル「Play a Life」の成長を見守っている。

この内容が表に出る時は、四日市公演を終えて、さらに仕上がっているところだ。ぜひ見届けたい。

余談だが、昔さだまさしが言っていた。自費で制作すると細かいことが気になる。弁当代1つから気になると。確かにいついつスタツフには安宿を取っている自分がある。不便をかけている。公演が終わる頃には、自分ももう少し成長したい。

## リーディングミュージカル 「Play a Life」名古屋公演

メニコン AOI ホール

10月4日(土) 15時開演 チームソクラテス  
19時開演 チームプラトン  
10月5日(日) 13時開演 チームプラトン  
17時開演 チームソクラテス  
開場は各回の30分前  
出演者2チームによる全4回公演

全席指定 前売4,000円(当日4,500円)

「カンフェティ」にて好評発売中  
<https://www.confetti-web.com/@/readingmusical>



令和七年のNHK大河ドラマ「べらぼう」は、江戸時代中後期に版元として一時代を築いた鳶屋重三郎を、江戸の文化と共に描いています。このドラマ、実は四日市とも少しだけ縁があるのです。今回は、江戸時代の四日市の文化人についてのむだばな誌です。

鳶屋重三郎が活躍したのは、化政文化が開く直前の安永・天明・寛政年間（十八世紀末）の四半世紀で、四日市においても漢詩文や俳諧、和歌などの学芸の隆盛期に当たります。

この時期、四日市で学芸が盛んになったのはなぜでしょうか。それは当時の四日市が和州郡山の大名

柳沢家の領地だったことと関係しています。

郡山藩の儒臣である城戸月庵と実弟の杉山重水（共に四日市生まれ）が四日市に儒学を広め、問屋場の役人を務めた西村馬曹や庄屋の伊達源三郎（太右衛門）ら有力町人らと共に漢詩や書画を作っていました。

馬曹は『東海道名所図会』の四日市の条に「那古浦屋楼記」という長文の漢文を載せたり、四日市の人々が馬曹の両親の長寿を祝って詠んだ漢詩、和歌、俳諧を集めた『老伴集』を出版したりしています。その序文を書いた月庵とは一歳違いで、漢詩を共に作ったよき友であったことが、月庵の漢詩集

『東帰稿刪』にもみえます。

また馬曹は、何歳頃のことかは不明ですが江戸の近郊、内藤新宿（現在の新宿区）の煙草屋平秩東作のもとで一年ほど世話になっていまし

た。東作は「べらぼう」にも登場する人物で、平賀源内の親友であり、大田南畝とも親交がありました。馬曹が東作と親しい間柄になった理由は、史料の制約もありわかりませんが、東作の父が尾張藩士であったことが関係しているのかもしれない。

幕府役人である大田南畝が大坂に赴いた際の日記「改元紀行」（享和元（一八〇一）年）には、四日市宿での出来事として「年頃相しれりける西村馬曹庄右衛門は此駅の長なり去年神無月十日にうせにし」と記し、その夜、馬曹に縁のある伊達太右衛門や高津伊右衛門と会ったと記しています。この二人はかつて南畝の家に来たことがあるとも記しています。

さらに、瀧澤解（後の曲亭馬琴）が上方を旅した際の記録『羈旅漫録』（享和三（一八〇三）年刊）には「四日市の伊達源三郎は至極の好事家で、その弟馬曹も詩作俳諧など嗜めり」と記し、四日市で二人に会いに行ったが馬曹は当春（実際は一昨年の秋）に没し、源三郎は留守だったと記しています。

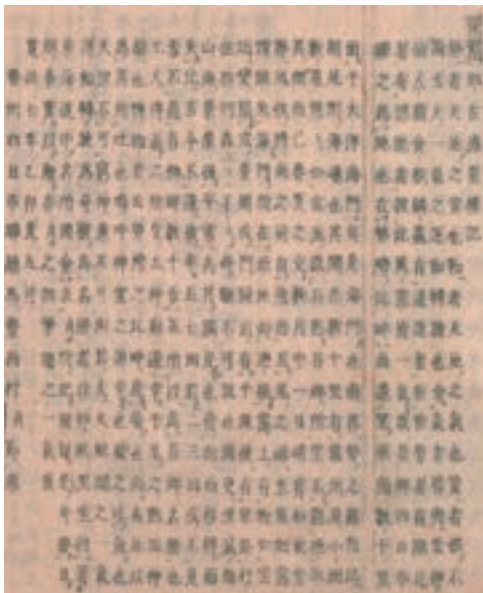
これら史料からも、四日市が江戸や上方の学問や文化としっかり繋がっていたことがわかります。

四日市の学芸の昂まりは、東海道の宿場町の文化人を記した『東海道人物志』（享和三年刊）に源三郎を始め三十二人が掲載されていることからわかります。三十人を超えて掲載される宿場は五十三あるうちの六宿しかなく、四日市の学芸が東海道の中でいかに盛んだったかが推し量れます。

十八世紀末には四日市独自の文化人名録「寛政泗水郷友録」が作られ、十九世紀初めには「改正泗水郷友録」が作られました。改正版には漢詩、和歌、俳諧から踊り、芝居、相撲に至るあらゆるジャンルの好事家が七百二十九人（重複あり）記されています。

四日市の雅称泗水も、この学芸の昂まりの中で生まれました。初出は城戸月庵の『東帰稿刪』で、儒学を興した孔子の故郷を流れる川、泗水の名称と、儒学を始めとする学芸が盛んな四日市の地名とを掛け合せて雅称にしたと考えられます。

今も使われる泗水の名は、江戸時代後期に四日市が学芸の盛んな地であったことを今に伝える証なのです。



『東海道名所図会』那古浦屋楼記（国立国会図書館ウェブサイト）

## 石の疑問に答える人々

人文科学・自然科学の諸説

吉川 宗明

自然石考と題して、石と人間の精神的な関わりを毎号取り上げてきた。石は無生物だから、精神的な関係とは言ってもそれは人間側からの一方的なコミュニケーションでしかない——と擱筆できそうなところだが、石に接して人が何の影響を受け取ってきたのかには諸説ある。読者の皆様が実物に触れるるように書誌情報も含めてまとめてみよう。

まず文学の世界では石はどう評価されているだろうか。小説家の高原英理氏は『書物の王国⑥ 鉱物』（国書刊行会 一九九七年）で、石に惹かれる人の特徴を五つ挙げた。

(一) 自己に囚われたくないという客観志向 (二) 静謐なものへの憧れ (三) 人間を離れたがる傾向 (四) 永遠志向 (五) 生き物である人間が無機物の石を無視できなくなったときの慌てぶり。

次に国文学者の吉野政治氏は

『日本鉱物文化語彙考』（和泉書院 二〇一八年）において古典に記された岩石・鉱物を集めた。その結果、日本列島の岩石観は「無情」（感情がない存在）ではなく「非情」（喜怒哀楽がない超然としたもの）だと結論付けた。

海外に目を転じると、哲学者のガストン・バシユール氏が『大地と意志の夢想』（思潮社 一九七二年）で、石という物質は想像力を喚起するのだと古今東西のさまざまの詩・歌などの例を挙げている。その上で、石にいろいろな夢想する人たちは理性でとらえようとしても無駄だと説く。諦めるという意味ではなく、彼らが残した言葉には人間の豊かな想像力が読み取れて、むしろ夢想できない私たちは大丈夫なのかという問いをつきつけられているようである。

そんな中で、作家の徳井いつこ氏は多くの石好きの人々にインタ

ビューや聞き取りをおこなって、一つの境地にたどりつく。「石好きの答えは、あとから思いついた言いわけのようだ」（『ミステリーストーン』筑摩書房一九九七年）。そもそも内面心理を言語化することに限界があり、不正確な理解に終始するのはではないか。

そこで、今まで紹介した人文科学的な方向とは別に、自然科学からの知見も取り上げたい。脳神経科学の見地からヒトが遺伝的にもつ宗教心を分析する「宗教認知科学」という分野がある。藤井修平氏の『科学で宗教が解明できるか』（勁草書房 二〇二三年）には最新研究がまとめられており、石に関連するものとしては次の認知能力が挙げられるだろう。(一) 人間以外に人間の特徴を見出そうとする「擬人観」(二) 無生物が生きているようにみえる「過敏な行為者探装置」(三) 六歳までの子供を対象とした研究で、子どもが自然界に何かの意図やデザインを見出すという傾向。

特に岩石の中でも、生物学者のロビン・ダンバー氏は『宗教の起源』（白揚舎 二〇二三年）で洞窟・洞穴

の構造に注目する。暗い洞窟は音が反響するためヒトの知覚が歪み、トランス状態に近い状態になりやすく、そこから宗教的な心理が芽生えやすかったと論じる。洞窟は岩肌に囲まれた空間と言え、岩石の内部に惹かれるヒトの心理を指摘する一説である。

最後に、岩石そのものが発する磁力を重視した比較文化学者の大嶋仁氏『石を巡り、石を考える』（石風社 二〇二三年）に触れておく。人間にも他の動物に見られるような、磁場を感じとる力が本来あったとみなし、石が発する磁力に影響されて信仰に至ったとする壮大な仮説である。石の側から人にかける科学的影響さえ唱えられている段階である。石は石なりの特質を有して人に刺激を与えてきたから、石の物語と思索が尽きないのかもしれない。

# パッションひろば

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば

(一社) 四日市市文化協会文化活動功労賞  
20周年記念 四日市アート展 2025 を終えて  
第一回 四日市ほのぼのアートマルシェ』を終えて  
第75回 四日市市市民芸術文化祭

この人を知る  
後援事業告知

## 文芸ひろば

### 俳人山口誓子は四日市に居た!!

俳人山口誓子は、昭和十六年（一九四一）九月、病氣（肺結核）療養のため、勧められて四日市北部の松ヶ浦に居を移した。そして六年後の昭和二十一年五月、富田一色漁港の北の天力須賀へ転居し、そこで西東三鬼や橋本多佳子らの進言もあり新誌『天狼』の構想を練る。左はその頃の玉の様な作品です。

つきぬけて天上の紺曼珠沙華 昭和十六年

晴れ渡った紺碧の秋の空。それに向かつてすつくと伸びる莖。その先端に一輪の華麗な赤い花。

病快しかげろふ砂を手握る 昭和十七年

誓子は富田漁港の南の富田浜病院というサナトリウムの医師に診てもらっていたらしい。綺麗な潮風と、新鮮で美味しい魚のお陰で、病氣も快方に向かっていたのだろう。因みに、松ヶ浦は純白の、砂質の細かい広大な砂浜が広がっていたから、春から夏にかけてはよく陽炎（糸遊）が立った。そこから、誓子居に門人たちが集つ句会を「糸遊句会」と名付けたのだそう。

鷹の羽を拾ひて持てば風集ふ 昭和十八年

四日市で見かけたことのある鷹はハヤブサ、チヨウゲンボウ、オオタカなど。その何れだろうか。松ヶ浦周辺には魚干し場があって、いつも鷹が群れていたから、その鷹たちと争った鷹が落ちた風切羽かも知れない。

海に出て木枯帰るところなし 昭和十九年

句集『激浪』の昭和十九年以降、『遠星』、『晩刻』、『青

女』まで、つまり天力須賀にいたころまでの作品には一句ごとに日付があって、この句には十一月十九日と記されている。誓子の句集には特攻機の片道飛行に思いを致していたというが、それは忘れた方がよい。この浜は砂質が細かいから砂が風に乘って遠い沖まで運ばれて行く。つまり木枯が目に見えるのである。

炎天の遠き帆やわがころの帆 昭和二十年

打瀬網漁の舟だろうか。それとも旧制富田中学（現四日市高校）にはヨット部があったというからその艇だろうか。

夕焼けて西の十万億土透く 昭和二十一年

天力須賀へ転居してからの句。海岸堤防の上から西の空を見ているのだろう。

螢獲て少年の指みどりなり 昭和二十二年

誰しも経験があるだろう。捕まえた螢を手を這わせると、点滅しながら掌や指を這い回る。そのこぼさず青臭い草の匂いと。

かの雪嶺信濃の国の遠き以て 昭和二十三年

二月十二日の日付がある。これも海岸堤防の上からの眺望だろうか。四日市には鈴鹿山脈と養老山塊の間に伊吹山が見えるところがある。もしかして雪嶺となった伊吹山を見ての感慨だろうか。

※誓子は津高校をはじめ多くの校歌を残し、また各地の句会では多くの俳人が薫陶を受けた。四日市市民大学で俳句の指導をしている「煌星」主宰の石手いさお氏もその中の一人です。

(佐藤 茂)

令和7年5月24日

## 令和6年度

### 一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞

一般社団法人四日市市文化協会  
 会員顕彰に基づき、令和6年度の  
 文化活動功労賞 受賞者を決定い  
 たしました。

ここに受賞者のプロフィールを  
 ご紹介いたします。

(順不同)



左より加藤武、伊藤暢子、川田勝、ろまんコーラス(敬称略)

加藤 武(かとう たけし) <美術部門> 日本光画会

日本光画会において25年間にわたり活動、文化協会副理事長、アート展初代実行委員長を務められた。二科展、市美展、県展で多数入賞。第59回全国公募日本光画会写真展で文部科学大臣賞(=最高賞)を受賞された。

伊藤 暢子(いとう ようこ) <美術部門> 俳画 風花会

長きにわたり俳画を究め、アート展、総合美術展を中心に真心をこめた作品を継続して出品してこられた。また体験を通して俳画の普及に務め、後進の指導に精力的に取り組んでいる。俳画 風花会 主宰。

川田 勝(かわた まさる) <芸能部門> 三重奇術愛好会

長年にわたり、三重奇術愛好会を牽引され、現在も第一線で四日市市を中心に発表会を精力的に数多く開いている。マジックパフォーマンスの腕前は、観客と同好の仲間より好評を博している。

ろまんコーラス <合唱部門>

市の熟年大学卒業生で1998年に創立。「夢とロマン」をモットーに楽しく活動を続けてきた。「合唱祭」へ毎年参加、老人クラブへ合唱ボランティア、記念演奏会開催等様々な活動を繰り広げている。

四日市市文化協会様 御用達 パネル用 “紙看板”  
 フルカラーインクジェット大判プリント

840x1600mm 5,500円~

耐久クロス地、ターポリン地 他取扱い

☎ (059) 353-3885

企業のイメージアップサポーター

株式会社 紺文デザイン

〒510-0075 四日市市安島2-4-14

http://www.konbun-d.com

E-Mail info@konbun-d.com

令和7年6月13日～15日

## 20周年記念 四日市アート展2025を終えて

南川 朋宣

今年も本展が6月13日、14日、15日と四日市市文化会館展示棟にて開催され、1000人を超える来場者に恵まれました。活気ある、笑顔あふれる展覧会として閉幕しましたことを報告いたします。

今年も20周年記念ということもあり、特別展示として過去に

お世話になり、逝去された作家3名の作品を御一緒に陳列いたしました。工芸の伊藤佳子さん、彫刻の鈴木次男さん、写真の中西一夫さんです。御三方は四日市アート展初期から出展していただき、運営にも大変お世話になった作家さんです。

2年前に急逝された伊藤佳子さ

んの作品は菊と題された観音様と菊の花を組み合わせた幽玄な雰囲気、掛け軸が印象的でした。

また、7年前に亡くなられた鈴木次男先生の彫刻作品も展示いたしました。鈴木先生はお酒が好きで、とても温厚な御人柄で15年前に私がアート展に携わったことから折に触れ、可愛がっていただいたことを懐かしく思います。

一括りに20周年と言いますが、生まれた赤ん坊が成人に達する年月ですので、思えば、長い時を刻んでまいりました。アート展も20歳となり、成熟期を迎え

たのかもしれない。これまで、本当にたくさんの方々を支えられ、今の四日市アート展があると思います。

今までにご協力いただいた出品作家の皆様、実行委員の皆様、スタッフの方々、そして、多くの御来場された皆様方に深く感謝申し上げます。



令和7年7月12日～13日

## 『第一回四日市ほのぼのアートマルシェ』を終えて

谷口玉翠



ほのぼのの公募作品展は、5年前から子どもから大人まで、幅広く誰でも応募でき、趣味の作品から作家として多分野で取り組んでいらっしゃる方々まで来場者の目につれていただく場として始めた作品展です。

その作品展を継続して、今年も『第一回四日市ほのぼのアートマルシェ』と題し、7月12日、13日の2日間の開催となりました。

今回は初の試みとして、小さな作品を手に取り、購入していただくコーナーを設けました。また、各展示ブースで来場者と作家さんとの交流もあり、出品者による実演もありで、人と人とのふれあいの場としても盛り上がりました。

そして、出品者のお友だちから、そのまたお友だちとたくさんの方が足を運んでいただき予想を上回る来場者で賑わいました。これは主催者側として、大変喜ばしい結果となりました。

今後も文化活動の一環として、色々な分野からの出品者の方々をお待ちしております。



# 第75回 四日市市民芸術文化祭

(令和7年度)

主催：四日市市 一般社団法人 四日市市文化協会

令和7年9月10日現在

開催日	催名	会場
11月 3月祝	第23回 四日市短詩型文学祭	四日市市総合会館
12月 21日	クリスマス茶会	泗翠庵
1月 25日	四日市市囲碁大会	三浜文化会館 視聴覚室・会議室
2月 22日	キッズ・ドリーム・コンサート ～第36回「年にいちどのこんさーと」～	あさけプラザ
3月 21日(土)・22日(日)	第38回 春の文化祭	あさけプラザ

今後の情勢の変化により中止になる催物もございます。開催情報は四日市市文化協会ホームページをごらんください(四日市市文化協会 で検索)。  
お問い合わせは、催し別担当者が四日市市文化協会 TEL・FAX：059-347-1023(日・月・水・木・金の13～17時)

## 「ぶんきょうだより」のご案内

パソコン、スマートフォンから「CTY コネクト」アプリをダウンロードして「北勢情報トライフル」を探してみてください。  
文化協会からのお知らせ「ぶんきょうだより」を24時間いつでも視聴できます！

※アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードやご利用時にかかるパケット通信料はお客さまのご負担となります。※アプリのダウンロードには通信費がかかる場合があります。  
※ Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。※ Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。



ここから  
視聴できます

アプリのダウンロードはこちらから



## 賛助会員 (五十音順・敬称略)

### 法人会員

(株)紺文デザイン  
茶道具 山水園  
(株)シー・ティー・ワイ  
(公社)セントラル愛知交響楽団

(学法)富田文化学園  
日本トランスシティ(株)  
水九印刷(株)  
(株)レイ・ステージ桑名

### 個人会員

一見 政幸 田中 俊行  
伊藤 洋史 樋口 博己  
田中 徹

文化協会活動にご理解とご支援をいただいている皆様です。

# この人を知る

## 第16回



アマチュア写真家  
**興村 良輔**さん

高校で新聞部に入り写真撮影を体験。大学、社会人はその関連写真サークルで活動。35歳で転職をしたのをきっかけに興味を写真だけに限定して再始動。65歳で藝術大学に再度進学、現在は県内写真関連数団体に所属し、また、ユマニテク製菓調理専門学校では非常勤講師として写真をベースにした美術を教えている。

興村さんは写真活動の他にユマニテク調理製菓専門学校 美術 非常勤講師など多岐にわたって活躍されています。

今年の6月13日から22日までパラミタミュージアムにて『写・画・書による〜生命の讃歌〜<sup>※はたはた</sup>瞬間展』を開催されました。

出品作品は、自然の木々や花に瞬間の太陽光があたることで龍や猪、熊、仏像などに見えたり、普通の風景や観光写真などとは一味、二味も違う幻想的な世界観の作品ばかり。また、戦争を風刺し、平和の大切さを再認識させられる「カラージユ写真も発表され、訪れた人たちに感動を与えていました。

今回は写真をはじめられたきっかけ、今回のテーマの意図、今後の作品創りや抱負などを語っていただきました。

### ・写真を始めたきっかけ

高校1年の時、父のカメラに興味を持

ち、小遣いをためてミノルタの16mmカメラ(16pos)を購入したのが写真を始めたいきっかけだと思います。

### ・瞬間展「生命の讃歌」の意図

写・画・書による〜生命の讃歌〜それぞれの表現で綴る【生命の讃歌】混沌としたディストピアの時代に、祈りを捧げることく表現する。

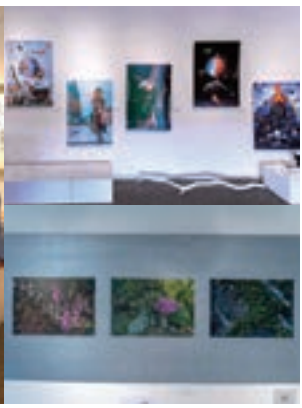
国家間での覇権による戦争の多発。国内では詐欺、強盗の横行、転売屋、知人家族親族間のトラブルによる殺傷事件などディストピアが広がっています。地球上のあらゆる生命は同じアミノ酸の結合によ



Despair

り発生し、進化した兄弟であるという。それなのに人は兄弟たちの輪から、遊離して兄弟たちをどんどん排除しています。

ディストピアを意識しても個人に何ができるのでしょうか。日本では古来から



展示風景



ギャラリートーク

「八百万の神」が示すあらゆるものに、神が宿るといふ思想があります。これを意識して隣人たちの輪に歩み寄り、身近な所から考えを変え、自然への感謝を心から表現してはどうでしょうか。人はもって謙虚に自然と接し慈しみ、その一員であることを再認識すべきではないでしょうか。

瞬き展の中で展示した山道で撮影した写真は撮影時気が付かなかった、神が宿ったと思われる「依り代」を表現しました。

「カラージユは地球環境の危うさ及びディストピアとの解決の糸口をパロディ的に表現し、インスタレーションは「生命の輪」への帰帰を示し、身近な自然界への感謝と畏敬の念を持ち続け、この考えに共感してくれることを願って全体構成しました。

この問いかけに、来館いただいた方々から、共感や感動の声を沢山いただきました。ありがとうございました。

### ・今後の作品創りや抱負

今後、私は、身近な地域での撮影を重視し、「アミニズムとタナトス」をテーマとして活動し、また今回、展示した「カラージユ」、「ワイヤーアート」の表現技法を自分表現としてフラッシュアップし、インスタレーションなどで紹介してゆきます。

## 一般社団法人 四日市市文化協会 後援事業

本号発行から次号までの間の催事をご案内します。催事については各問い合わせ先におたずね下さい。

### 第16回マジックお楽しみ会

日時 10月26日(日) 14:00開演(13:30開場)  
会場 四日市市三浜文化会館  
主催 三重奇術愛好会  
入場料 無料  
問い合わせ ☎ 059-326-3587 川田 勝

### いけばな小原流四日市支部 創立70周年記念 みんなの花展

日時 11月8日(土)・9日(日) 10:00開場  
会場 四日市市地場産業振興センター じばさん  
主催 (一財)小原流四日市支部  
入場料 無料  
後援 四日市市  
助成 (公財)岡田文化財団 近鉄文化サロン  
中日新聞社  
問い合わせ ☎ 059-351-1043 久保 豊和

### 四日市交響楽団 第24回室内楽演奏会

日時 11月16日(日) 13:30開演(13:00開場)  
会場 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 けやきホール  
主催 四日市交響楽団  
入場料 無料  
後援 四日市市 四日市市教育委員会  
(公財)四日市市文化まちづくり財団  
鈴鹿市 鈴鹿市教育委員会  
鈴鹿市文化振興事業団

問い合わせ ☎ 090-7374-8944 事務局

### 第5回演奏会 女声合唱団 Luce

日時 2026年2月15日(日) 13:30開演  
会場 川越町あいあいホール  
主催 女声合唱団 Luce  
入場料 1,000円  
問い合わせ ☎ 090-4268-6127 小林 紀子

令和8年3月15日以降の四日市市文化協会後援事業の予定がありましたら、この誌面にて告知を掲載しますので事務局までご連絡ください。

# 元気な四日市が好き!!

## 四日市市文化協会入会のご案内



### 四日市市文化協会は

- ・四日市市民芸術文化祭を企画、運営します。
- ・文化団体の育成、支援をします。
- ・子どもの文化活動を支援します。
- ・文化情報誌『パッション』を発行します。
- ・他市町文化団体との文化交流をします。
- ・催し物のサポートをします。

### 年会費

正会員(個人) 2,000円/人  
正会員(団体) 会費は構成人数により異なります。

構成人数	1～3人	4～10人	11～20人	21～30人
金額	2,000円	7,000円	10,000円	12,000円
構成人数	31～40人	41～50人	51～100人	101人以上
金額	15,000円	18,000円	25,000円	30,000円

但し、中学生以下は金額計算には入れません。

賛助会員(個人) 5,000円/一口  
賛助会員(法人) 10,000円/一口

- ・入会は随時できます。
- ・詳細は事務局までお問い合わせください。

今まで一度も虹を見たことがないという人はいないと思いますが、普段、何気なく見ている虹、殆どの人が「7色」と言っていると思います。しかし、昔の浮世絵を見ると3〜5色、世界では2〜8色と言われています。虹の色が時代や国によって異なるのは意外ですよ。

海外旅行に行くと、「あなたの国では、虹は何色ですか？」と問うことにしていますが、その国の文化や教育等によって違っていることがわかりました。因みに、7色は日本・オランダ・韓国、6色はアメリカ・イギリス、5色はドイツ・フランス・中国、4色はインドネシア、3色は台湾です。物理学者のニュートンが「虹は7色」と言ったことが、日本に伝わって7色となったようですが、ニュートンが7色としたのは、当時のヨーロッパでは音楽が自然現象と結びつけることが重視されていたため、「ドレシ・ミ・ファ・ソ・ラシ」の音階に「赤・橙・黄・緑・青・藍・紫」の7色を当てはめたそうです。

多忙な毎日を送っている皆さんも、たまには日中の雨上がりに、太陽と逆の方向の空を見上げてみてください。

不易流行

シロエビのこと

むかし、伊勢湾の北部は豊かな漁場で、さまざまな漁法の一つに打瀬網漁というのがあったことは、多分、知る人は少ない。

全長15メートルほどの細身の木造船に帆柱が二本、それに、白帆を3枚張って風を受け、横ざまに底引き網を曳くのである。

だが、残念なことに時代が下るにつれて海の環境も変わり、今この漁が行われているのは、北海道北部の野付湾でのホッカイシマエビ漁だけである。

かつて伊勢湾の打瀬網漁で獲れたのはワタリガニ、シャコエビ、シロエビ、カレイなどであった。

ここにいうシロエビは富山湾の宝石と言われるものとは違う。向このはオキエビの仲間、こちらはクルマエビのなかまである。

海が汚染され、この漁も廃れて幾十年、思いがけなく富田の親戚からシロエビが手に入ったと連絡が来た。押っ取り刀で駆けつけてお裾分けにありついた。

難しい調理はいらない。ただフライパンで乾煎りすれば良いのである。プリプリした身の食感と自然の塩味がビールがすすむ。

その味にふとふる里の松ヶ浦の風景を思出して柄にもなくホロリとした。(西田青沙)

編集後記

● 前回の編集後記を書いてから今日までの間に、3月にネパール、4月に和歌山県5月にシンガポールとマレーシア、7月に小倉からスタートして五島列島へと旅をした。毎回、初めの宿の予約は取るが、その後は宿が取れた場所へと移動する放浪旅である。特に目的があるわけではないが、知らなかつた歴史、文化、人とのめぐり逢いが楽しい。降り立った場所を何を感じられるのか？自分を試しているようにもある。次の旅も出会い次第、さて、どこになるやら。(順)

● 下野ごちゃまぜ文庫を取材させていただきました。子ども頃は本当に読書が苦手で、漫画を読むにも丸一日かかる有り様。それから少し大人になると「読書する人」に憧れるようになり、本屋に行っでは無理して文庫本を購入していました。ありきたりですが、読書でしか得られない体験は多く、今の私を形づくっているような気がします。ちょっと背伸びをして太宰治を読んでいた、あの頃の私を何ともいじらしく思うのです。(純)

パッション 77号

- 発行 令和7年9月15日
- 発行人 水谷 達
- 編集 パッション編集部  
森 次男(編集長)・石井 亨・伊藤 順子  
伊藤 美香・中村 智恵子・畑中 純一・吉川 秀道  
西田 青沙(オブザーバー)
- 発行所 一般社団法人 四日市市文化協会  
〒510-0845 四日市市海山道町 1-1532-1  
四日市市三浜文化会館内  
TEL・FAX 059-347-1023
- デザイン・レイアウト・DTP 高田 敦
- 印刷所 水九印刷株式会社

月にありました。亡くなる直前まで元気でした。孫の私のご事は認識していませんでしたが、施設に会いに行き、「調子はどう？」と尋ねると決まって、「ありがたう、おかげさんで、良うしてもらってる」という答えが返ってきました。しかも笑顔で。そんな状態なのに、こんな言葉が出るとは、ものすごいことだと思いました。日々、いろいろなことが多かった私には、殴られたような衝撃でした。将来、もし同じ立場になったら同じように答えられるでしょうか。そんな自信はありません。(美)

文化情報誌『パッション』に広告を出しませんか

文化情報誌『パッション』は「より充実した情報誌」を目指し、3月と9月の年2回発行しております。市内各文化施設、各地区市民センター、北勢地域の各文化協会、当文化協会会員に配布しております。70号からは全ページカラーとなり、より見やすく伝わる誌面となりました。ぜひこの機会にご検討ください。

	サイズ	年間契約額 (1回契約額)
① ページ全面	18 cm × 23 cm	50,000 円 (25,000 円)
② ページ半面	17 cm × 11 cm	25,000 円 (12,500 円)
③ 記事下 1/4	17 cm × 5 cm	12,000 円 (6,000 円)

お問合せとお申込み (一社)四日市市文化協会  
四日市市海山道町一丁目 1532-1 四日市市三浜文化会館内  
電話・FAX: 059-347-1023  
メール: ybk@yokkaichishibunkakyoukai.com

# 想学館 3つの特徴



## プロ講師による (徹底)指導

20年以上の指導経験を持つ  
プロによる徹底指導。  
受験から進路指導まで安心して  
おまかせください。



## 動画&個別指導で 「理解」から 「やる気」へ

オリジナル授業動画と  
個別指導で  
弱点を徹底的につぶします。



## こまめなチェックで 理解度を 「見える化」

チェックテストを繰り返し実施し  
進捗度をつぶさに把握。  
ウィークポイントを  
自覚させることで  
本人のやる気をアップさせます。



### 想学館の指導システム

- **学校カリキュラムとの連動**  
定期テストとの連動で学校の授業を最大限に  
活かします。
- **フレックス制導入**  
クラブ等を考慮して無理のない受講時間を設定  
します。

### 家計にやさしい安心の金額

月謝・教材費・ゼンけん模試代のみで追加負担は  
ありません。

### 中3 スケジュール

#### 受験対策

春 期 講 習 … 中1中2の総復習  
夏 期 講 習 … 受験勉強の基礎固め  
受験対策特訓講座 … 3年間の総復習

冬 期 講 習 … 私立高校入試対策  
直前集中講座 … 公立高校入試対策

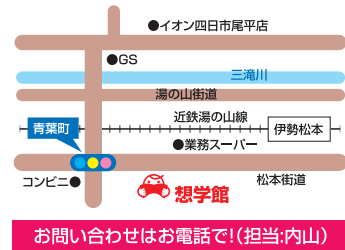
入 試

#### 定期テスト対策

- 1 学期  
中間試験対策講座 期末試験対策講座
- 2 学期  
中間試験対策講座 期末試験対策講座
- 3 学期  
期末試験対策講座



四日市市青葉町800-8-1  
TEL 059-358-7735  
FAX 059-358-7953  
<https://sougakukan.com/>  
[info@sougakukan.com](mailto:info@sougakukan.com)



水九印刷は「印刷」という情報伝達サービスを核に、あらゆるお客様のニーズにお応えするため

「より深く考え、より早く行動」をスローガンにかかげ、

社員一人ひとりが120%の能力を発揮し、新しい事にチャレンジしながら  
常に成長を続けていく企業を目指しています。



地域と共に140年。

創業1875年(明治8年)を経て私達は常に革新し続けます。



 水九印刷株式会社

TEL 059-332-6600

お気軽にお電話ください  
FAX 059-332-6688

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-147 水九印刷 検索 <https://www.mizuku.co.jp>



無料

CTY

# 便利なアプリ CTYコネクト

まずはコネクトアプリを  
今すぐ  
ダウンロード!



ID登録  
はこちら  
から!



**コネクトテレビ・ビデオ**  
地域のことが分かる!  
コミュニティチャンネルで放送した番組の見逃し配信や地域のイベントをLive配信!

**Nケーブル  
News**

**「ケーブルNews」**  
北勢地域のニュース、気象、  
防災情報などをお伝えします。  
もちろん地上12chでも! | 月~金 18:00~放送!



## My CTY

ID登録をしてもっと便利に!  
今すぐ登録して  
ぜひご活用ください!



**プレゼント  
応募**  
My CTYからだけ  
応募できるプレゼント  
企画もお楽しみに!



**ご利用料金  
の確認**  
My CTYから月々のご  
利用料金がカンタンに  
チェックできます!

## お手元でこんなことも!

- ご契約内容の確認
- お問い合わせ
- サービスのお申し込み※1



## 情報カメラ

エリア内に設置した「情報カメラ」で  
集中豪雨時の河川や道路の状況  
変化をチェック! ID登録すれば動画  
でご覧いただけます。

### 道路の様子をみる



国道306号(四日市市水沢町)



中央通り(四日市市諏訪栄町)

### 河川の様子をみる



天白川(四日市市日永)



鹿化川(四日市市新正 四日市庁舎前)

※1 一部サービスを除きます ※アプリのダウンロード・動画視聴には通信費がかかる場合がございます。 ※アプリ・My CTYの仕様は変更になる場合がございます。

# CTY FM 76.8 MHz

イザ!という時の  
ラジオ局



## Evening Wave 生放送

月曜日~金曜日 16:00~18:49

あなたが知りたい地元の情報満載の3時間。  
1日の疲れを素敵なおしゃべりと音楽で癒やします。



笠井 久未

熊谷 よう子

藤田 綾乃

まこ

大場 由香

## こちら北勢よろづ研究所 生放送

金曜日 12:00~13:59

“地元は知れば知るほどおもしろい”をコンセプトに掲げ、徹底的に“地元”に拘って上下左右いろんな角度から研究する番組♪三重県北勢地域の地元に関するあらゆるモノ・コトについて、広く、狭く、深くそして浅く考えます。  
毎月第2・4金曜日はテレビとコラボレーション!  
地上12chでお楽しみいただけます!

※予告なく変更する場合があります。



**所長**  
第2・4週目  
山本浩之



**見習い研究員**  
第1・3週目  
コータロー



## 災害への備えとして、アプリをダウンロード!

公式アプリを使えば雑音も無く快適にラジオをお聴きいただけます♪  
災害時には防災ラジオとして緊急情報などを随時放送。災害への備えとして、  
今すぐダウンロード!



「FMプラブラ」アプリを  
ダウンロードして  
いただき、  
CTY-FMを選局して  
ください!

※アプリのダウンロードには通信費がかかる場合がございます。



**株式会社シー・ティー・ワイ**  
0120-30-6500 電話 9:00~17:00(月~土 祝日を除く)  
※変更となる場合があります。